



82.9.8

No. 1141

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)
(鉄電)二九三五・六(会館)四三三二七二〇七

定期大会を成功させよう!

勤労千葉 才ワ回

57「合理化攻撃粉碎、 10「三里塚総決起と固く結合して

来たる9月30日と10月1日、オセ七回定期大会が開催されます。過る一年間、吹きあれる反動のなかで、とくに、軍事大国化―改憲をめざす支配階級に抗し、権力革マル当局の不当弾圧をはねかえし、「全員が活動家になろう」を合言葉に勝利的前進をかちとってきた。われわれは、ますます激化している情勢をみすえ、取場の闘い、政治的闘いへと、全組合員一丸となって決起していくために、大会を成功させ、固う方針を確立しようではありませんか。

臨調・国鉄労働運動解体攻撃をうちくたけ

7月30日の臨調基本答申を契機に、取場既得権全面剥奪と大合理化攻撃が強まっています。こうした攻撃は、部分的な攻撃ではなく、国鉄労働運動を根こそぎ解体するというものとしてかけられています。支配階級のこの全体重をかけた攻撃は、逆に自らの体制的危機の証明です。こうした状況だからこそ、我々は労働者としての自覚、組合員としての団結、労働運動の原点にしっかりとふまえた正しい路線のもとで対決し闘っていく事が最も重要なのです。

二期着工阻止、反対同盟を守り、10「総決起

同時に政府自民党の反動と侵略と腐敗の政治をうち倒すための決起が今強く求められています。自民党鈴木政権は、教科書問題、増税等にみられるように、軍事大国化・改憲―侵略戦争体制づくりに全力を投入しています。GNPの1%ワクをとりはずす56中業(自衛隊の飛躍的大軍拡)、福祉切り捨て、増税等々、全ては軍事費増大、戦争準備に直結したものです。支配階級は、全国の反戦・反核の人民の闘い、その中心軸をなしている三里塚闘争を、今なにが何でも叩きつぶさうと凶暴な攻撃にうつて出ています。「82年用地問題解決―83年着工」を至上命令とする反対同盟解体条件派オセ同盟づくり―三里塚二期着工攻撃は、現下の臨調・国鉄労働運動解体攻撃と並ぶ83年政治反

動全面化の最大攻防点となっています。勤労千葉が「三里塚―反合」を結合して闘いぬいてきたことの正義性と勝利性が明白となり、その真価が問われる時代に入ったと言えます。

57「ダイ改阻止、反撃の体制を確立しよう

国鉄当局は、一九九〇年「25万人体制」を達成するとして、「57「ダイ改」検査下廻り大合理化攻撃を突破口として滅茶苦茶な攻撃をかけてきています。合理化それ自身の強行実施のみならず、「アルトレ手当返済」や「現協廃止」攻撃のやり方に典型的に表われているように、従来の労資関係を当分の側から暴力的に破壊して、鉄労のようによく働き、よく協力する御用組合の育成の路線をとったことを示しています。臨調攻撃に完全屈服し、57「を前に「アルトレ」現協問題で、卑劣な取引と裏切りに走った勤労本部「革マル」反動分子の階級的犯罪性は決定的に重大であり、勤労を「オセ鉄労」とおとしこめるものであり徹底的に粉碎しなければなりません。われわれは、すでに全取場で積み上げてきた取場闘争にふまえ、労働運動の原則を堅持し、固う全国の国鉄労働者と連帯して「57「はじめ反撃戦に立ちとうではありませんか。

取場の討議と闘いを更に強めつつ、定期大会の圧倒的、成功し固う方針体制をふちよう。